

スマート・ファイブ(毎月決算型)

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第64期（決算日2018年11月8日） 第65期（決算日2018年12月10日） 第66期（決算日2019年1月8日）
第67期（決算日2019年2月8日） 第68期（決算日2019年3月8日） 第69期（決算日2019年4月8日）
作成対象期間（2018年10月10日～2019年4月8日）

第69期末（2019年4月8日）	
基準価額	9,894円
純資産総額	305,229百万円
第64期～第69期	
騰落率	4.8%
分配金（税込み）合計	240円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「スマート・ファイブ（毎月決算型）」は、2019年4月8日に第69期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金上場投信などに投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

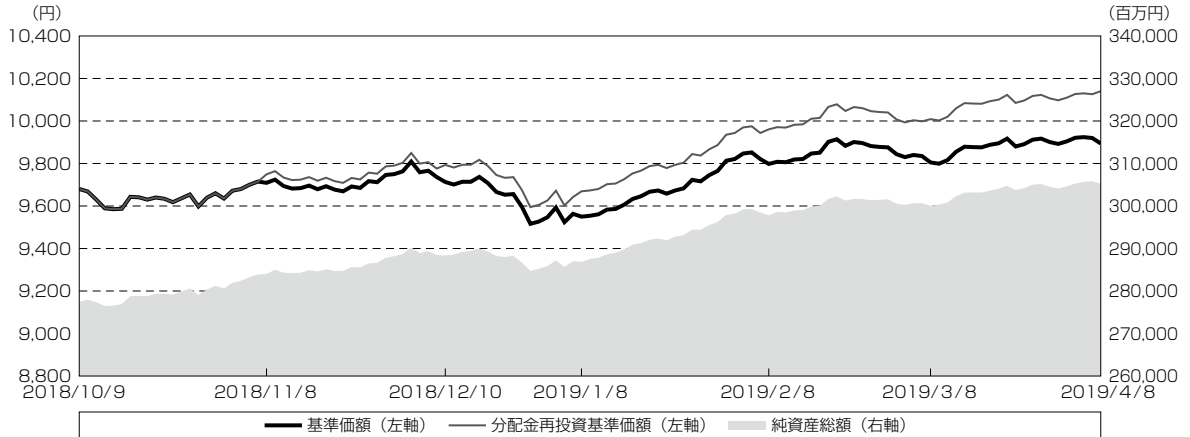
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2018年10月10日～2019年4月8日）



第64期首：9,680円
 第69期末：9,894円（既払分配金（税込み）：240円）
 騰落率：4.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年10月9日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金上場投信などに投資を行なう5つの投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、各資産の基準価額への影響度合いが、5資産の間で概ね均等になるような資産配分戦略（スマート・ファイブ戦略）を用いて、基準価額が、特定の資産から受ける影響を抑えることをめざしております。期間末における各資産の組入比率および当作成期間における投資対象先ファンドの騰落率は以下の通りです。

資産	投資対象先ファンド	組入比率	騰落率
日本国債	日本超長期国債マザーファンド	47.7%	6.6%
高金利海外債券	高利回りソブリン債券インデックスファンド	14.2%	4.7%
グローバル高配当株式	グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	9.3%	0.9%
グローバルREIT	グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）	7.2%	9.5%
金	ゴールド・マザーファンド	16.3%	6.9%

<値上がり要因>

- ・「日本超長期国債マザーファンド」、「高利回りソブリン債券インデックスファンド」、「グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス」、「グローバル・リアルエースト・ファンド（適格機関投資家向け）」、「ゴールド・マザーファンド」の基準価額が値上がりしたこと。

1 万口当たりの費用明細

（2018年10月10日～2019年4月8日）

項 目	第64期～第69期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬	52	0.536	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(19)	(0.193)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(31)	(0.321)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(2)	(0.021)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	0	0.004	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(0)	(0.001)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	52	0.541	
作成期間の平均基準価額は、9.757円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

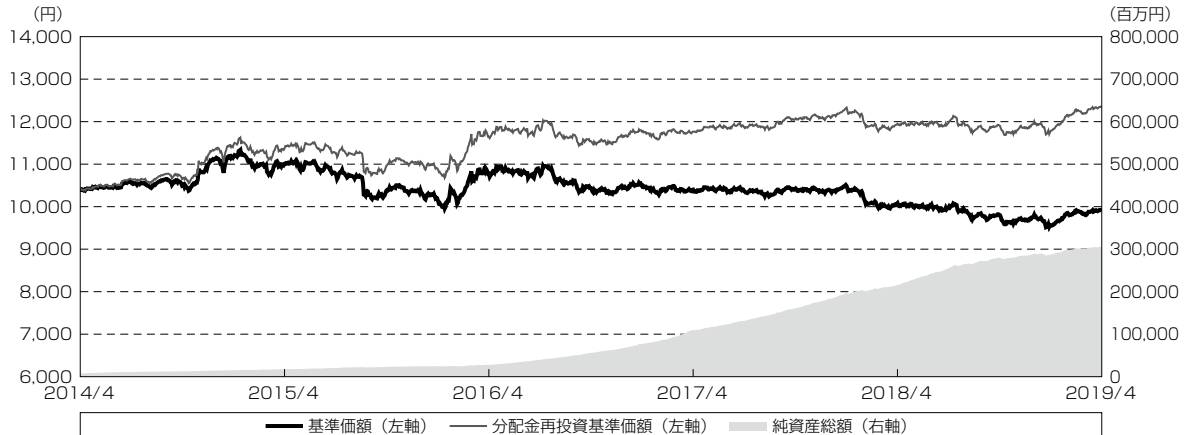
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2014年4月8日～2019年4月8日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2014年4月8日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年4月8日 決算日	2015年4月8日 決算日	2016年4月8日 決算日	2017年4月10日 決算日	2018年4月9日 決算日	2019年4月8日 決算日
基準価額 (円)	10,414	11,020	10,701	10,359	10,025	9,894
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	390	480	480	480	480
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	9.7	1.6	1.3	1.4	3.6
純資産総額 (百万円)	7,468	17,579	27,707	109,339	215,843	305,229

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2018年10月10日～2019年4月8日）

（市況）

日本国債市場は上昇しました。期間の初めから2018年12月にかけて世界的に株安が進むなか、米中貿易摩擦に対する警戒感や、世界経済の減速観測などを受けて上昇基調が継続しました。2019年に入って以降も、英国の欧州連合（EU）離脱に向けた動きや、米国および欧州の金融当局による引き締め姿勢の棚上げなどを背景に、期間末にかけて概ね堅調な動きが続きしました。

高金利海外債券市場では、先進国の債券価格は上昇しました。米国をはじめとする世界経済の今後の減速観測が強まるなか、米国および欧州の金融当局による利上げ観測が後退したことや、英国のEU離脱に対する先行き不透明感が根強いことなどを背景に、期間を通じて全般に上昇傾向が継続しました。一方、新興国の債券価格も上昇しました。米国や欧州をはじめとして世界的に長期金利が低下したことや、米国や欧州の金融当局が緩和的な姿勢に転じる動きを示したことなどが好感されたほか、2018年12月下旬以降、原油価格が反発したことなども買い材料となりました。

グローバル高配当株式市場は上昇しました。期間の前半、特に2018年10月と12月は、米国と中国との対立への警戒感や、欧州各国における政局不安、米国景気の減速観測などを背景に、大幅な下落に見舞われましたが、12月下旬以降は、米国や欧州の金融当局が利上げを打ち止めあるいは先送りする方針を示したことを好感し、相場は急反発する展開となりました。

グローバルREIT市場は上昇しました。期間の初めから2018年11月にかけては、米国の利上げ早期打ち止め観測などを背景に堅調に推移しましたが、12月には世界的な株安や欧州の政治リスクなどが意識されたことで米国市場を中心に急落しました。しかし2019年に入って以降は、米国や欧州の金融当局が政策姿勢を慎重化したことを好感し、大幅な反発を示す展開となりました。

金市場は上昇しました。2018年10月や12月に世界の株式市場が大幅に下落した場面では、実物資産の裏付けのある金に対し買いが入りやすい状況となりました。また、期間末にかけて世界景気の先行き減速懸念が強まったことが、リスク回避目的の資産としての金の買い要因となったほか、米国において利上げ打ち止め観測が台頭したことも、金利がつかない金の相対的な魅力を高める結果につながりました。

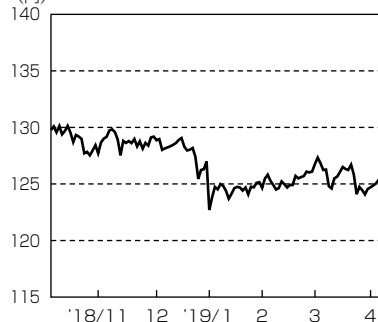
（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

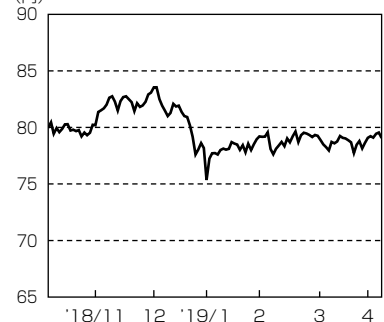
（円） 円／アメリカドルの推移



（円） 円／ユーロの推移



（円） 円／オーストラリアドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2018年10月10日～2019年4月8日）

（当ファンド）

スマート・ファイブ戦略に基づき、投資対象とする各資産の基準価額への影響度が均等となることをめざして、毎月末の株式市場、債券市場、為替市場、REIT市場、金市場のボラティリティ（価格変動性）および相関関係の状況を勘案して配分比率を決定しました。配分比率は、日本国債が45%～52%、他の4資産は概ね7%～21%の範囲で推移しました。

当該期間における実績リスクへの各資産の寄与度（基準価額の変動率への影響度）は、グローバル高配当株式が35.4%、グローバルREITが35.2%、高金利海外債券が24.1%と高めとなる一方、日本国債が1.1%、金が4.2%と低めとなり、寄与度が偏りました。ただし、スマート・ファイブ設定時点（2013年7月）からの寄与度については、各資産とも14%から24%の間に概ね収まっており、スマート・ファイブ戦略は功を奏しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年10月10日～2019年4月8日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

（2018年10月10日～2019年4月8日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期
	2018年10月10日 ～2018年11月8日	2018年11月9日 ～2018年12月10日	2018年12月11日 ～2019年1月8日	2019年1月9日 ～2019年2月8日	2019年2月9日 ～2019年3月8日	2019年3月9日 ～2019年4月8日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.410%	0.410%	0.417%	0.407%	0.406%	0.403%
当期の収益	40	40	40	40	31	34
当期の収益以外	—	—	—	—	8	5
翌期繰越分配対象額	1,479	1,485	1,493	1,496	1,487	1,482

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、投資対象先ファンドを通じて、5つの資産へ分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。各資産への配分については、スマート・ファイブ戦略に基づき、各資産のリスク水準に加え、各資産間の相関性なども考慮して、各資産の基準価額の影響度が均等となることをめざして、資産配分を決定する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

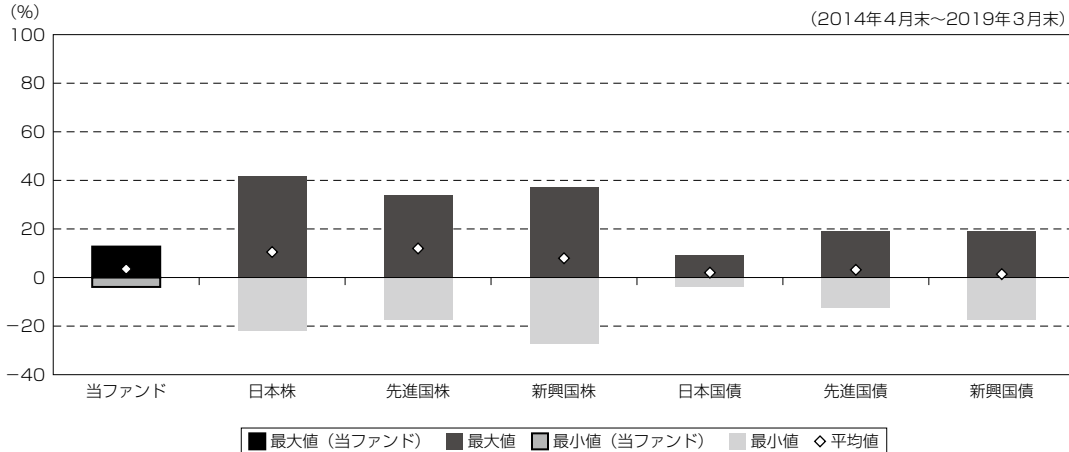
2018年10月10日から2019年4月8日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2013年7月16日から2028年4月10日までです。
運用方針	主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券などに投資を行なう投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みません。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「日本超長期国債マザーファンド」受益証券 「高利回りソブリン債券インデックスファンド」受益証券 「グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス」受益証券 「グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券 「ゴールド・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	投資対象先ファンドを通じて、5つの資産へ分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。各資産への配分については、スマート・ファイブ戦略に基づき、各資産のリスク水準に加え、各資産間の相関性なども考慮して、各資産の基準価額の影響度が均等となることをめざして、資産配分を決定する方針です。
分配方針	第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 なお、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	12.7	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 3.9	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	3.5	10.5	12.0	7.9	2.0	3.2	1.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年4月から2019年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2014年7月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCI Emerging Markets インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●**東証株価指数（TOPIX、配当込）**は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●**MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●**MSCI Emerging Markets インデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●**NOMURA-BPI国債**は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●**FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）**は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●**JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）**は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2019年4月8日現在）

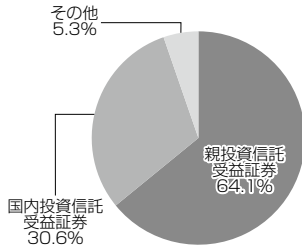
○組入上位ファンド

銘柄名	第69期末 %
日本超長期国債マザーファンド	47.7
ゴールド・マザーファンド	16.3
高利回りソブリン債券インデックスファンド	14.2
その他	16.5
組入銘柄数	5銘柄

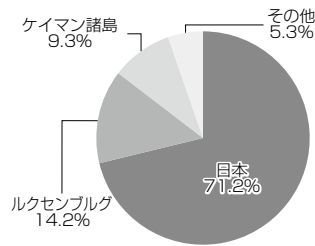
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

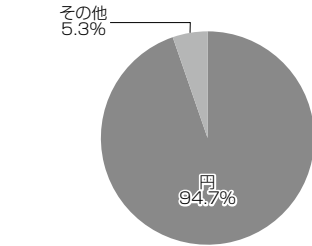
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第64期末	第65期末	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末
	2018年11月8日	2018年12月10日	2019年1月8日	2019年2月8日	2019年3月8日	2019年4月8日
純資産総額	283,986,525,166円	288,358,556,261円	286,826,173,006円	297,821,819,624円	300,035,546,113円	305,229,385,107円
受益権総口数	292,484,513,649口	296,873,105,703口	300,335,695,411口	303,963,920,467口	305,989,166,275口	308,506,249,225口
1万口当たり基準価額	9,709円	9,713円	9,550円	9,798円	9,805円	9,894円

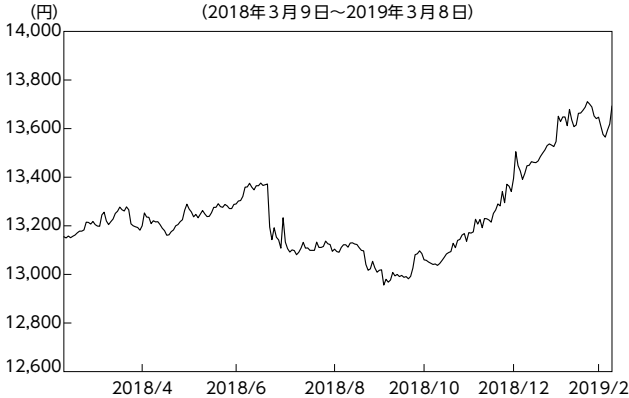
（注）当作成期間（第64期～第69期）中における追加設定元本額は39,781,131,540円、同解約元本額は17,960,528,679円です。

組入上位ファンドの概要

日本超長期国債マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年3月9日～2019年3月8日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年3月9日～2019年3月8日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他の費用(その他)	0	0.001
	(0)	(0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、13,261円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2019年3月8日現在)

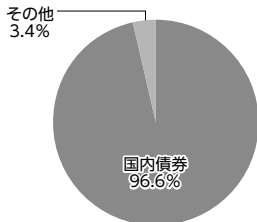
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	第150回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	15.0
2	第152回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	11.7
3	第151回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	11.7
4	第59回利付国債（30年）	国債証券	円	日本	10.8
5	第153回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	8.9
6	第58回利付国債（30年）	国債証券	円	日本	7.4
7	第60回利付国債（30年）	国債証券	円	日本	7.2
8	第154回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	5.9
9	第163回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	5.3
10	第61回利付国債（30年）	国債証券	円	日本	5.1
	組入銘柄数		13銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

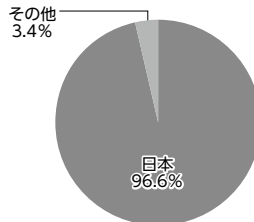
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

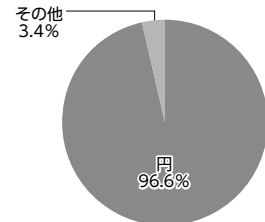
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

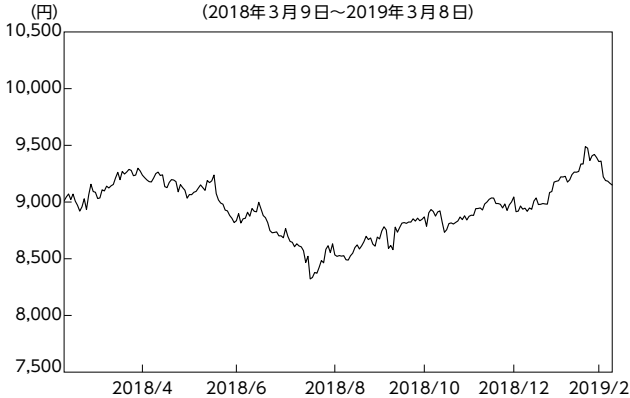
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

ゴールド・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年3月9日～2019年3月8日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年3月9日～2019年3月8日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1 (1)	0.011 (0.011)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)	0.010 (0.010) (0.000)
合計	2	0.022

期中の平均基準価額は、8,944円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2019年3月8日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	ISHARES GOLD TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	83.3
2	SPDR GOLD TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	16.8
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
	組入銘柄数		2銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

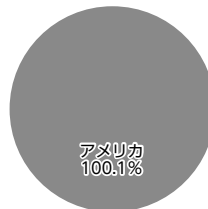
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

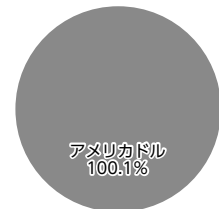
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



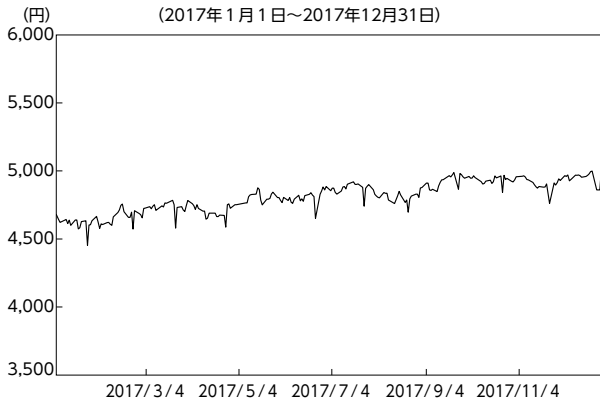
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

高利回りソブリン債券インデックスファンド

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万円当たりの費用明細】

(2017年1月1日～2017年12月31日)
当該期間の1万円当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2017年12月31日現在)

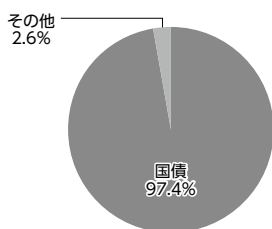
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	3.8
2	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	3.4
3	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	2.1
4	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	1.7
5	Russian Federal Bond - OFZ	国債	ロシアルーブル	ロシア	1.7
6	Russian Federal Bond - OFZ	国債	ロシアルーブル	ロシア	1.7
7	Russian Federal Bond - OFZ	国債	ロシアルーブル	ロシア	1.6
8	Mexican Bonos	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.5
9	Mexican Bonos	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.4
10	Mexican Bonos	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.4
組入銘柄数				143銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

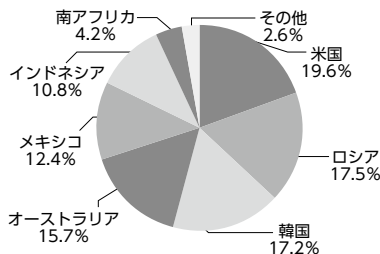
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

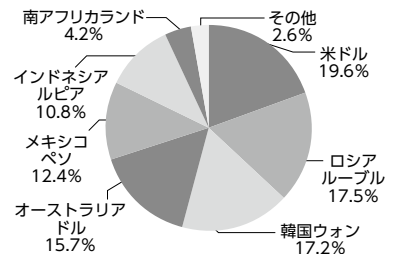
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

スマート・ファイブ(毎月決算型)
交付運用報告書に関するお知らせ

平素は、弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて今般、標記投資信託の交付運用報告書におきまして、「組入上位ファンドの概要」の内、「高利回りソブリン債券インデックスファンド」の「組入上位 10 銘柄」の一部に記載不備がありましたので、下記の通り訂正し、深くお詫び申し上げます。

記

【対象となる交付運用報告書】

スマート・ファイブ(毎月決算型)

第 58 期から第 63 期

作成対象期間(2018 年 4 月 10 日～2018 年 10 月 9 日)

10 頁

【誤】

【組入上位10銘柄】

(2017年12月31日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	3.8
2	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	3.4
3	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	2.1
4	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	1.7
5	Russian Federal Bond - OFZ	国債	ロシアルーブル	韓国	1.7
6	Russian Federal Bond - OFZ	国債	ロシアルーブル	韓国	1.7
7	Russian Federal Bond - OFZ	国債	ロシアルーブル	韓国	1.6
8	Mexican Bonos	国債	メキシコペソ	韓国	1.5
9	Mexican Bonos	国債	メキシコペソ	韓国	1.4
10	Mexican Bonos	国債	メキシコペソ	韓国	1.4
組入銘柄数		143銘柄			

【正】

【組入上位10銘柄】

(2017年12月31日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	3.8
2	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	3.4
3	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	2.1
4	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	1.7
5	Russian Federal Bond - OFZ	国債	ロシアルーブル	ロシア	1.7
6	Russian Federal Bond - OFZ	国債	ロシアルーブル	ロシア	1.7
7	Russian Federal Bond - OFZ	国債	ロシアルーブル	ロシア	1.6
8	Mexican Bonos	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.5
9	Mexican Bonos	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.4
10	Mexican Bonos	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.4
組入銘柄数		143銘柄			